仏教とお寺をやさしく解説

さんが

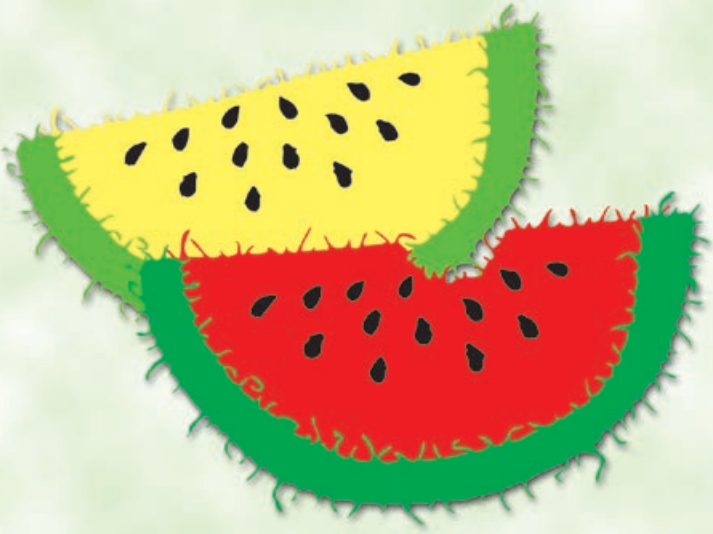
Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2013年7月
第13号
（年4回発行）

お盆号

発行部数3千部

「感謝の心と信仰心」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／浄土三部経2「観無量寿経」
実践教室／お布施の種類
・西願寺大施餓鬼会法要のご案内
・お盆会／合同新盆供養のご案内



感謝する心と信仰心

日本人は信仰心が薄いと話題になることがありますが、有名な神社仏閣では、いろいろな世代の多くの人が手を合わせている姿を目にします。特定の宗教に特別に帰依することがなくても信仰心というものは日本人の中に根付いているものなのではないでしょうか？

西願寺　参道

問　宗教とは…信仰とは…などと切り出すと難しくとらえてしまう人もいらっしゃるように感じます。

住職　そうですね。欧米と比べて宗教心が薄いと言われるのは、日本の場合神仏習合のように宗教が混ざり合った環境の中に暮らしてきた文化があるからではないでしょうか。だから改めて宗教心や信仰心を問われると「何も信仰していない」となってしまうのかもしれませんね。

問　子どもが生まれるとお宮参りに行ったり、結婚式をキリスト教式で挙げたり、人が亡くなった時には仏式で葬儀を営んだりするのはどこかで宗教に対して敬意を払う心がありそれが信仰心ではないかと思うのですが…。

住職　意識している人は少ないと思いますが、もし何も信じていないのであれば、そのような宗教儀礼も無くなってしまうものね（笑）。

信仰や信心というのは、神仏を信じ崇めることを言いますが、感謝する気持ちを持つということにも繋がるのではないでしょうか？　何かが無事済んだ時になど「お陰さまで」という言葉をつかいますよね？　これも目に見えないものや陰の力に感謝の気持ちを表す言葉なんです。古くから私たちの日常の中に根付いている言葉ですよね。

問　なるほど。「陰」とは神仏などの偉大なものの陰で、その庇護を受ける意味として使われると聞いたことがあります。「お陰さまで」と思う気持ちは、自分だけの働きではなく、知らないところで動いてる人や力があって今があ

ると感じ感謝するということでしょうか？

住職　そうあって欲しいですね。「信仰心とは」と難しく考えなくても生活の中にあるお陰さまという謙虚な気持ちが大切でありそれが信仰の心なのだと思います。そして、それを広めていくのがお寺の役割なのだとも思っています。

　大勢の中に生かされていることに気付き、有り難いことと感謝する。日常の感謝の気持ちも消えてしまった時、それが本当の意味での信仰の心を失ったということかもしれないですね。

問　私たちの中には、なぜか宗教やそれに関係する言葉を聞くと身構えてしまうところがあって、そこから「無宗教だから」「信仰心はない」などの言葉が出てくるように思えます。

住職　そうですね。よくわからないものへの警戒心なのかもしれないですね。お寺イコール葬儀というだけの関係ではなく、心のよりどころとなる、もっと身近な存在になれれば皆さんの中にあるいろいろな誤解も薄れていくのではないかと考えているんです。

問　その一つのきっかけとして、西願寺もそうですが、他のお寺でもさまざまなイベントを開催するところが増えましたよね。まずは足を運んで頂きお寺を知ってもらうことからということだと思うのですが、集まりはどうですか？

住職　徐々に増えてきたように思います。今年の二月に行った節分会法要では、日取りが良かったのもあってか豆まきの時にはだいぶ人が集まってくれました。いつものように力士にも来てもらってね。ただ来年は、また平日になってしまうのでどうかな…。

問　今後も、他の行事も含めたくさんの方が気軽に参加してくださるといいですね。

住職　はい、こうやってわかり易いところから感心を持ってもらい自分の中にある信仰心に気づいてもらったり、お寺って何だろう？　仏教ってなんだろう？　と考えていただけたらいいと思います。

　実はね、他にも皆さんが楽しんで参加できるようなイベントの企画を考えているところなんです。

問　それは楽しみですね。それが決まったら是非教えてください。本日はありがとうございました。

シリーズ浄土宗 浄土宗の根本経典 浄土三部経2

『観無量寿経』
浄土往生のための方法

観無量寿経は、略して『観経』とも称されます。浄土三部経の中では最後に成立したこの経典は、一国の王妃の悲劇の物語をベースに極楽浄土に往生するための具体的・実践的な方法が説かれています。

王舎城の悲劇

釈尊が仏弟子たちとともにマガタ国の首都、王舎城、耆闍崛山（霊鷲山＝グリドラクータ）の山中に身をとどめられていた。ときに王舎城では、阿闍世という名の王子が、悪友の提婆達多にそそのかされ父である国王を牢獄に閉じ込めてしまう。王の身を案じた王妃・韋提希は自分のからだに食物を塗るなどして密かに牢獄内の王にそれを食べさせていた。しかし、それが王子に知れ怒りに触れ、ついには王妃も宮廷に幽閉されてしまう。

わが子に背かれ囚われの身となった韋提希は憂い憔悴して耆闍崛山に身を置く釈尊に救いを求めると、それに応えた釈尊が神通力をもって韋提希の前に姿を現した。そして、苦悩なき世界を求める韋提希に釈尊は浄土往生のためのさまざまな方法を説かれた。

浄土を観る観法と念仏

釈尊は、「あなたは知るべきです。阿弥陀仏は、あなたのそばにおられることを。思念を阿弥陀仏に向けて、かの浄土を心に観なさい。どのように観ればよいのか、これから話します。」といい日想観からはじまり、雑観までの阿弥陀仏と極楽浄土に精神統一して思念を向ける十三項（定善観法）の観法を説きました。韋提希は、この方法を求めたのですが、釈尊は、続いて散善の行といわれる、散乱した心のままでも善を修する方法である第十四から十六項を説かれました。念仏も、その中の一つですが、この経の最後には、「汝好くこの語を持て。この語を持てといふは、すなわちこれ無量寿仏の名を持てとなり。」と念仏こそが、この経の主要であることを明言されるのです。

仏事実践教室

お布施の種類

お布施というと、僧侶に支払う料金のように考えてる人もいるのではないでしょうか。

布施は、労働に対する報酬ではありません。ですから「お経料」などと表書きを書いて渡すものでもないのです。

「布施」はサンスクリット語のダーナ（旦那）の訳で与えること、喜捨、施しといった意味があります。

お釈迦さまは実践すべき徳目の第一に布施をあげています。僧が人々と接するときの四つの方法（四摂法―布施、愛語、利行、同事）と、正しい悟りを得るための六つの事柄（六波羅蜜―布施、持戒、忍辱、精進、禅定、智慧）がそれです。

布施が一番にきているのは、人にものを与えるということは、欲望を捨てることで、これが悟りのためには最も大切だとされているためです。

布施は、おおまかに三種類にわけることができます。**「法施」**正しい仏法の在り方を広く伝え、精神的な無形の施しをするということ。**「財施」**寺院や僧侶に対して、信者の側からお金や物を施すこと。仏法の真理を伝えてくれたことへの感謝の気持ちを表すもの。**「無畏施」**不安や畏れ抱いている者に対してひろく慈悲をおこなうこと。

このように、お布施というのはそれぞれまわりまわって功徳をお互いに施すという意義をもっているのです。

また、**「無財の七施」**という言葉があります。

①眼施＝やさしい眼で人に接する。**②和顔施**＝人に笑顔で接し、不快な表情を与えない。**③言辞施**＝人にやさしい言葉で接し、悪い言葉を与えない。**④身施**＝身体をもって人につくす。**⑤心施**＝和やかな善心でもって人に接する。**⑥床座施**＝人の為に布団、坐布団、敷物などや自分の座席も与える。**⑦房舎施**＝人の為に家屋を与えてやる。の七つです。

人にものを与えたり、また何かをしてやることは、簡単なようで意外と難しいことですが、無財の七施には普段の生活の中でもちょっとした心がけで実践していくことがありそうですね。

暮らしの中の仏教語「一味」【いちみ】

「強盗の一味」や「一味に加わる」など悪事を企てる仲間に加わることに使われ、イメージの良くない「一味」という言葉ですが、仏教語では、大きい海の水の味がどこでも同じであるように、仏さまの教えは、時・場所または人によって多様であっても、もとはみな同じ平等無差別ということを表します。

そこから一味は同じ目的をもった同士の意味となり、いつしか悪事を企む仲間に使われるようになったとか…。

■お盆会/合同新盆供養のご案内

日時　平成25年8月4日（日）
　　11時～12時
場所　西願寺本堂

西願寺本堂内陣

■西願寺大施餓鬼会法要のご案内

先祖追福のために、また一切の生物の霊を慰め、あわせて自分自身の福徳延寿を願う法要であるお施餓鬼は、年に一度の大供養法要ですので、万障お繰り合わせのうえ、ご出席ご参詣いただき御仏前にご焼香供養ください。

日時　平成25年8月18日（日）
　　13時より余興（落語）
　　14時より法要
場所　西願寺本堂

当日は、
三遊亭春馬師匠の落語があります。皆さまお誘い合わせのうえ足をお運びください。

●お施餓鬼

施餓鬼会は、「救抜焔口餓鬼陀羅尼経」というお経に説かれた阿難尊者の話しに由来しています。

施餓鬼棚に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物を供え、五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが習わしです。

季節の雑学

お中元

日本では、季節のご挨拶として定着しているお中元ですが、「中元」とは中国の時節の考え方で「三元」というものからきています。三元は陰暦で上元＝正月15日、中元＝7月15日、下元＝10月15日をいいます。そのうち「中元」を祝う行事が中元節。道教では、中元節を罪を償う日として終日庭で火をたいたり、また斎醮（さいしょう＝壇を設けて祈り、懺悔する）という儀式を行うなどしたそうです。それが仏教の「盂蘭盆会」と結びついた行事となりました。中元が日本へ伝わると中国と同じく仏教の盂蘭盆会と結びつきましたが、日本では特に「お盆の頃の贈答」の習慣としてのこりました。

江戸時代以降、お中元に親類や知人が往来し、盆の礼として贈り物をする風習が生まれ、お世話になった人に贈り物をする習慣へと変化していったのです。

掲　示　板

◆◆◆◆◆ 西願寺別時念佛会のご案内 ◆◆◆◆◆

こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日　18時より　**場所**／西願寺本堂

■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。当日でも大丈夫です。
お気軽にご参加ください。
※当日灯明料をご奉納願います。

【申込・お問合せ】

西願寺 TEL. 048-925-1723

●別時念佛会●

日時を定めて身体やこころを清浄にして念仏行に励む意識をもちひたすらに阿弥陀さまのみ名を称え念仏を常にとなえつづけお念仏によって心を清める行事です。

浄土宗 宗祖　法然上人（法然房源空）

浄土宗の宗祖法然上人は、ただひたすらに仏に帰依し、南無阿弥陀仏を口に出してとなえれば、必ず仏の救済を受けて平和な毎日を送り、お浄土に生まれることができるという他力の教えをひろめられました。

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思います。また、「さんが」についてのご感想もお待ちしております。

◆イオ株式会社
西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一　カクタス飯田橋ビル7F
FAX　03（3265）1392
Mail：info@io-co.net

■次号予告

次号は平成二十五年九月発行予定の「秋のお彼岸号」です。

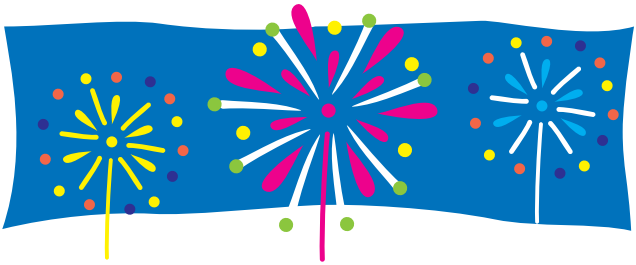
◆ 塔婆お焚き上げについて ◆

当園では、塔婆のお申込又は墓所に立てる際に、塔婆お焚き上げ料として１本につき1,000円を頂いておりますのでご了承ください。

※お寺様ご同行の方（霊園以外で塔婆をお申込の方）は墓前に塔婆をあげる際に事務所にお申し出ください。

彩の都メモリアルパーク
管理事務所
TEL. 048-921-4194

毎週水曜日は管理事務所の定休日とさせていただいております。事務手続き、電話問合せなどの業務はおこなえません。
皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。
尚　墓所へのお参りは通常どおり開門しておりますのでご自由にいらしてください。



◆編集後記◆

そろそろ季節は夏！　と言ってもここ数年は夏を待たずして気温が夏日を越えることもしばしば…。今年も暑〜い夏になるのでしょうか？　西願寺の施餓鬼会は夏の盛りの8月18日です。もちろん恒例の落語もあります。暑さを笑いで吹き飛ばすという作戦もいいかもしれません（笑）。

さて、今回のご住職に伺った信仰心の話しの中では「お陰様」という言葉が出てきました。話しの中にもある通りお陰様は謙虚な気持ち、感謝の気持ちで、よくよく考えてみれば私たちの生活は、どのシーンも全てこのお陰様という繋がりなのだと考えさせられます。

ふむふむ…謙虚な気持ち。大切ですよね。

発行者／

遊馬山一行院　西願寺

〒三四〇―〇〇三一　埼玉県草加市遊馬町四三〇番地
電　話　〇四八―九二五―一七二三
ＦＡＸ　〇四八―九二五―一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三四〇―〇〇三一　埼玉県草加市遊馬町一一六〇―九
電　話　〇四八―九二一―四一九四
ＦＡＸ　〇四八―九二一―四一九五

企画・編集・製作／

西願寺　丹羽義昭住職
イオ株式会社　西願寺・彩の都メモリアルパーク通信
「さんが」編集部